

2014年10月のガス料金は

調整単価

$$\boxed{\text{基本料金}} + \boxed{\text{ガス使用量}} \times \left(\boxed{\text{従量料金単価}} \right) + \boxed{+30 \text{ 円/m}^3} \text{)}$$

標準料金

原料費調整にかかわる料金

になります。

なお、今月の調整単価は前月に対して

$$\boxed{-3 \text{ 円/m}^3} \text{ となります。}$$

	①プロパンCP ドル/トン	②為替レート	③原料価格 (①×②) 円/トン
2014年10月	745	106.47	79,320

【10月分の調整額の出し方】

$$\left(\begin{array}{l} \text{③原料価格} \\ \text{(円/トン)} \end{array} - \begin{array}{l} \text{④基準原料価格} \\ \text{(2009年10月～2012年3月} \\ \text{の原料価格の平均値)} \\ \text{(64,628円/トン)} \end{array} \right) \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \begin{array}{l} \text{調整単価} \\ \text{(1 m}^3\text{あたりの調整額)} \\ \text{(円/m}^3 \text{ 税抜)} \end{array}$$

トンをkgに直します。

kgからm3に換算するための産気率

$$\left(\begin{array}{l} \text{③原料価格} \\ \text{79,320円/トン} \end{array} - \begin{array}{l} \text{④基準原料価格} \\ \text{64,628円/トン} \end{array} \right) \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \begin{array}{l} \text{調整単価} \\ \text{+30 円/m}^3 \end{array}$$

(小数点以下切り捨て)

【ガス料金の計算式】

$$\boxed{\text{ガス料金ご請求額}} = \boxed{\text{基本料金}} + \boxed{\text{ガス使用量}} \times \left(\boxed{\text{従量料金単価}} \right) \pm \boxed{\text{調整単価}}$$

従来の標準料金

原料費調整にかかわる料金